



音声ガイドを使う情報の場の訪問者



見取り図と展示入口



訪問の際に推奨します

展示用の音声ガイド

言語 ドイツ語、英語、オランダ語、
価格：4 ユーロ

展示テキストの音声翻訳

言語 スペイン語、イタリア語、フランス語、ヘブライ語、
ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語
価格：4 ユーロ

特別な要請用のガイド

聴覚障害の訪問者の方には字幕付きのドイツ語手話によるビデオ
ガイドがあります。視覚障害の訪問者の方には対応する操作バー
ジョンがあります。言語：ドイツ語、簡易ドイツ語、国際手話（英
語字幕付き）、価格：無料

無料の公開ガイド

www.stiftung-denkmal.de で情報を得てください。

グループガイド、ワークショップおよびプロジェクト開催日

www.stiftung-denkmal.de で情報を得てください。

お問い合わせと予約

電話 +49 -(0)30 - 2639 4336
besucherservice@stiftung-denkmal.de

開館時間、住所、連絡先

石碑の広場（入場無料）

毎日 24 時間立入り可能

情報の場（入場無料）

4 月～9 月 木曜～日曜 午前 10 時～午後 6 時（最終入場午後 5 時 15 分）
10 月～3 月 木曜～日曜 午前 10 時～午後 6 時（最終入場午後 5 時 15 分）

住所

Cora-Berliner-Strasse 1, 10117 Berlin, www.stiftung-denkmal.de

交通

Brandenburger Tor 駅および Potsdamer Platz 駅

財団

電話 +49 -(0)30 - 2639 4311, info@stiftung-denkmal.de

訪問者サービス

月曜～木曜 午前 10 時～午後 4 時、金曜 午前 10 時～午後 1 時
電話 +49 -(0)30 - 2639 4336, Fax +49 -(0)30 - 2639 4321
besucherservice@stiftung-denkmal.de

メディア

電話 +49 -(0)30 - 2639 4326, presse@stiftung-denkmal.de

寄付

私たちの活動をご支援ください。Berliner Sparkasse, 口座番号
6600 0076 62, 銀行コード：100 500 00, BIC: BELADEBEXX
IBAN: DE24 1005 0000 6600 0076 62・ありがとうございます。

Funded by



Federal Government Commissioner
for Culture and the Media

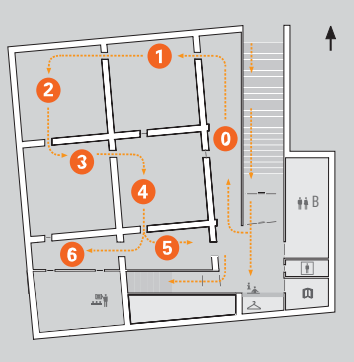
upon a decision
of the German Bundestag



Stiftung
Denkmal für die
ermordeten Juden
Europas

虐殺されたヨーロッパの ユダヤ人のための記念碑 石碑の広場および 情報の場





建設現場 (2004)・情報の場の空間配置図

年表と注記

ベルリン中心地に位置する虐殺されたヨーロッパのユダヤ人のための記念碑はドイツのホロコースト記念施設の中心となるものです。1980年代後半の著述家レア・ロッシュと歴史家エーベルハルト・イエッケル周辺の市民運動まで源はたどれます。1999年6月25日、ドイツ連邦議会は建築家ピーター・アイゼンマンの原案に基づく建設を決定しました。

2003年4月1日に建設は始まり、2005年5月12日に一般公開されました。

記念碑は19,000平米に及び2,700のコンクリートの角柱からなる石碑の広場とその下に位置する情報の場から構成されています。そこでの展示は年間約50万人の訪問者を数えています。記念碑は、虐殺されたヨーロッパのユダヤ人記念碑基金により運営されています。

石碑の広場

- ・ 一年を通し、立入りは発生する危険に関しご自身で責任を持ってください。
- ・ 石碑に上らないでください。
- ・ 騒音、喫煙、アルコール摂取は認められていません。

情報の場（石碑の広場の下）

- ・ 入口では入場者の混雑と安全検査のためにお待ちいただくことがあります。
- ・ 展示の観覧は14歳以下のお子様には推奨されません。
- ・ リュックサックおよびバッグは無料のクロークに預けてください。手荷物より大きなスーツケースは持ち込めません。



1・次元の空間

情報の場

0 幕開け

展示はまず、1933～45年間のナチズムのテロ政治に関する概観から始まります。テキストと写真を用い、ヨーロッパのユダヤ人の虐殺が表現されています。6枚の大きなポートレートは、約600万人の犠牲者を表現しています。

1 次元の空間

最初の展示テーマ空間の中心は、迫害の間に作成された日記の記録、手紙や最後のメモです。この個人的なレベルを、1937年時点の国境によるヨーロッパ各国の犠牲者数の記述が補完しています。

2 家族の空間

15の家族を手がかりに、さまざまなユダヤ人の生活世界が表現されています。写真や個人の文書が反映するのは、ホロコースト以前のヨーロッパのユダヤ人世界の多様性であり、これらの人々の迫害と虐殺を伝えています。



3・名前の空間

3 名前の空間

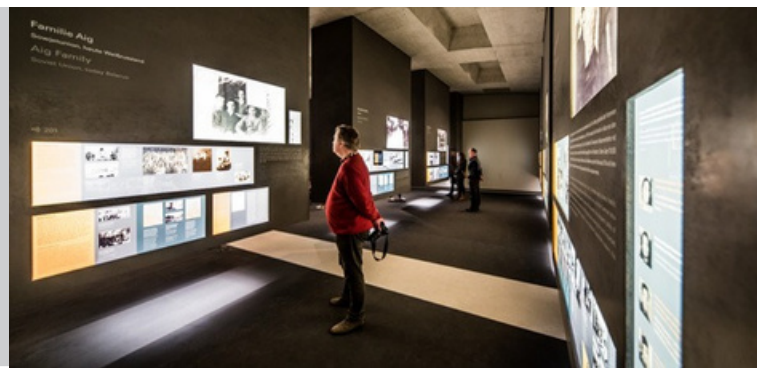
ここでは、ヨーロッパ全体から集められ虐殺された、あるいは行方不明のユダヤ人たちの名前と短い伝記が聞こえてきます。すべての犠牲者の人生の物語をこの形態で読み上げると、全部で6年7カ月と27日かかります。虐殺されたヨーロッパのユダヤ人記念碑支援会のおかげで、この空間は常に拡大されています。

4 場所の空間

この空間では、いかにホロコーストがヨーロッパ全体に地理的に拡大していたかが表現されています。重点は、中部ヨーロッパ、東ヨーロッパの犯罪の舞台が描かれています。歴史的動画や写真素材により、ヨーロッパのユダヤ人その他の犠牲者に対する迫害と抹殺の例示的な場所220か所が提示されます。

5 6 終末

ターミナルを用い、ヨーロッパ全体の記憶の場所にある記念施設のポータルや、ホロコースト生存者のインタビューやその他のデータベースにアクセスできます。



2・家族の空間



4・場所の空間